TOSHIBA
Leading Innovation >>>

東芝除湿機（家庭用）

取扱説明書

形　名
RAD-63DEX

保証書付
保証書はこの取扱説明書の裏表紙についていますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

- このたびは東芝除湿機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

日本国内専用
Use only in Japan

もくじ

安全上のご注意……………………………**2～5**
運転と性能について…………………………6
各部のなまえとはたらき………………7～9
上手な使いかた……………………10～11
運転前の準備と確認………………12～13
運転のしかた………………………14～17
お手入れのしかた…………………18～19
連続排水のしかた…………………………20
故障かな？と思ったとき…………21～22
仕様………………………………………22
保証とアフターサービス…………………23
保証書……………………………………24

安全上のご注意 必ずお守りください

●商品および取扱説明書にはお使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

⚠警告	「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定されること」を示します。
⚠注意	「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること」を示します。

＊1：重傷とは、失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁止
⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

指示
●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

注意
△は、注意を示します。
具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

運転時の取扱について

⚠警告

使用を中止する

異常・故障時にはすぐに使用を中止する

火災・感電・けがの原因になります。
すぐに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターに点検・修理を依頼してください。
《異常・故障例》
- ブレーカーやヒューズがたびたび切れる。
- 誤って異物や水を入れてしまった。
- 本体から水がもれる。
- 電源コードや電源プラグの過熱や電源コード部分に破れがある。
- 運転音が異常に大きい。
- ボタンの動作が不確実。
- 運転中にこげくさい臭いがする。

禁止

電源プラグを抜いて運転の停止をしない

感電や火災の原因になります。

分解禁止

分解・修理・改造をしない

火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

禁止

ルーバー・吸込口・吹出口に棒などを入れない

内部でファンが高速回転しているのでけがの原因になります。

禁止

スプレーなどを吹きつけたり、スプレー缶を近くに置かない

可燃性スプレーや化学薬品を近くで使うと火災・爆発の原因になります。

⚠注意

禁止

花びんなどの液体の入った容器をのせない

万一倒れて、水が除湿機内部に入ると電気絶縁が劣化し、感電・漏電・火災の原因になることがあります。

禁止

除湿機の風が直接当たる場所に燃焼器具を置かない

燃焼器具の不完全燃焼の原因になります。

排水して、ハンドルを持つ

移動するときは運転を停止し、タンクの水をすて、ハンドルを持つ

移動中に内部の水が室内にこぼれ家財をぬらしたり、感電・漏電・火災の原因になることがあります。

禁止

除湿水を飲料用・飼育用などに使用しない

健康を害する原因になります。

排水ホースを確認する

連続排水する場合は、排水用ホースの配管処理を確実に行う

ホースが折れ曲がっていたり、途中に上りの勾配があると排水が不完全になり、水が室内にこぼれ家財などをぬらしたり、感電・漏電・火災の原因になることがあります。

同じ場所で長期間ご使用の場合は、製品下部や床を時々清掃する

もしも水もれし放置した場合、床を腐食する原因になります。

禁止

本体を倒したり、落としたりしない また、本体を倒した状態で保管・移動しない

破損・漏水・漏電などの故障の原因になります。

禁止

食品・医薬品・美術品・学術資料などの保存等、特殊用途には使わない

保存品の品質低下の原因になることがあります。

禁止

上に乗ったり、腰掛けたり、踏み台にしたりしない

落下・転倒などによりけがの原因になります。

禁止

タンクのフロートレバーをはずさない

フロートレバーをはずすと、運転しなくなったりタンクの水が室内にこぼれ家財をぬらしたり、感電・漏電の原因になります。

禁止

吸込口・ルーバー・吹出口はふさがない また、洗たく物などをかけない

洗たく物が傷んだり、風通しが悪くなり、発熱・発火の原因になることがあります。

お子様、お年寄り、自分で湿度調節のできないかたがお使いになるときは、まわりのかたが注意する

運転中に熱を発生するため、室温が上昇します。風を直接体に当てたままで長時間ご使用になると、体調をくずしたり、脱水症状をおこす原因になります。

禁止

除湿機の周囲温度が氷点下になる場合は、タンクに水を入れたままにしない

水が凍ってタンクが割れて漏水の原因になることがあります。

禁止

動植物に直接風を当てない

悪影響をおよぼす原因になります。

設置について

⚠警告

禁止

発熱器具（ストーブやファンヒーターなど）の近くに置かない
樹脂部分が溶けて引火する原因になります。

⚠注意

水平な場所で使用する

床が水平（傾き2°以下）でじょうぶな場所で使う
運転音が大きくなったり、除湿機が倒れて内部の水が室内にこぼれて家財などをぬらしたり、感電・漏電・火災の原因になることがあります。

禁止

水のかかりやすい場所（浴室内など）で使わない
水がかかると感電・漏電・火災の原因になることがあります。

禁止

可燃性ガス・油のもれるおそれのある場所で使わない
万一ガスがもれて除湿機の周囲にたまると、火災・爆発の原因になることがあります。

禁止

テーブルの上など高いところで使わない
本体が落下したとき、けがの原因になります。

禁止

除湿機本体および排水用ホースの周囲温度が氷点下になる場所では使わない
本体やホース内部の水が凍結し、室内に水がこぼれ家財などをぬらしたり、感電・漏電・火災の原因になることがあります。

禁止

屋外で使わない
屋内専用です。直射日光・雨風の当たる場所で使うと過熱や感電・漏電・火災の原因になることがあります。

禁止

薬品を扱う場所で使用しない
（病院、工場、実験室、美容院など）
空気中に溶けた薬品や溶剤により除湿機が劣化し、除湿した水がもれて家財などをぬらしたり、発熱・発火・火災の原因になります。

すき間をあける

本体の周囲はすき間をあける
風通しが悪くなり、発熱・発火・故障の原因になります。

禁止

押し入れ・家具のすき間など、狭い場所で閉めきって使わない
風通しが悪くなり、発熱・発火の原因になります。

お手入れについて

⚠注意

禁止

除湿機を水洗いしない
漏電や感電の原因になります。

プラグを抜く

掃除をするときは運転を停止し、電源プラグを抜く
けがや感電の原因になることがあります。

定期的に点検をする

長時間連続して使うときは、特にフィルターや排水用ホースの汚れおよび取付状態などを定期的に点検する
過熱や漏水の原因になることがあります。

電源・電源コードの取扱について

⚠警告

交流100Vを使う

電源は交流100Vのコンセントを使う
交流100V以外を使うと、火災・感電の原因になります。

ほこりを取る

電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりがついているときはよくふき取り、がたつきのないように確実に根元まで差し込む
ほこりがついたり、接続が不完全な場合は感電・火災の原因になります。

禁止

電源コードをふすまやドアに挟まない
電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。

禁止

電源コードは、破損させせたり加工しない
重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったり、無理に折り曲げたり、ねじったり、たばねて通電したりすると破損し、感電・火災の原因になります。

禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない
タコ足配線などで定格を超えると、感電や発熱・火災の原因になります。

禁止

電源コードが突っ張った状態で使用しない、また電源コードを引っ張って除湿機を移動させない
電源コードを引っ張ると芯線の一部が断線して発熱・発火・故障の原因になります。

⚠注意

プラグを抜く

長時間使わない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く
ほこりがたまって発熱・火災の原因になります。

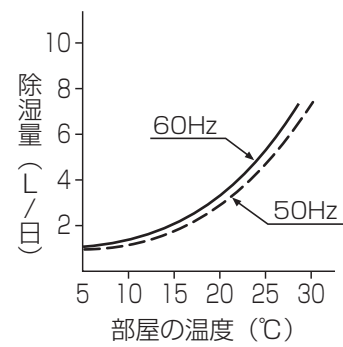
プラグを持って抜く

電源プラグの抜き差しは、電源プラグを持って行う
電源コードを引っ張って抜くと芯線の一部が断線して発熱・発火の原因になります。

運転と性能について

除湿能力について

●除湿能力は、室温 27℃、湿度 60%を維持する室内で、除湿能力が最大になる衣類乾燥［連続］、風量［強］で、ルーバーを全開にして運転した場合の 1 日（24 時間）当たりの除湿量です。他の使用方法で運転した場合や、ルーバーの開き具合により除湿量が少なくなる場合があります。
●同じ室温でも湿度の高い場合は除湿量が多くなり、低い場合は少なくなります。また、同じ湿度でも室温が高い場合は除湿量が多くなり、低い場合は少なくなります。
●除湿運転［自動］の場合は、湿度が約 60%以下になると、自動的に除湿運転を停止し送風運転となりますので、除湿量が少なくなることがありますが異常ではありません。

（湿度 60%のときの例）

霜取り運転について

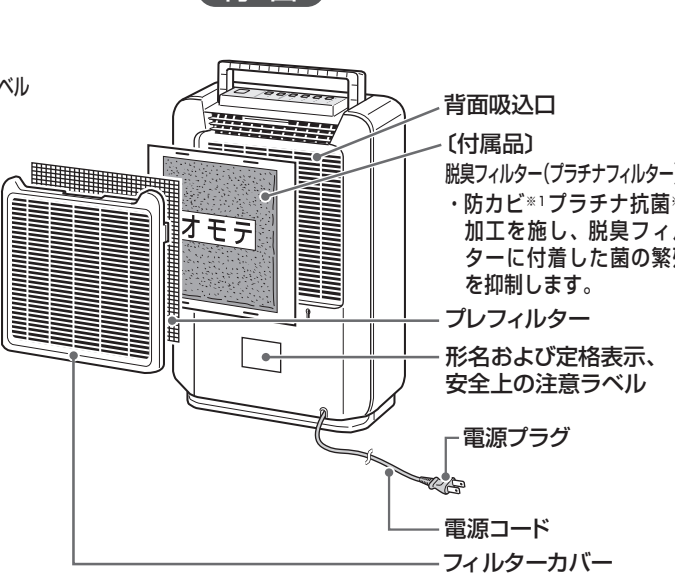
運転中、室温が約 15℃以下になると、本体内部に霜がつくことがあります。この霜を取るために多いときで約 40 分に 1 回（約 15 分間）自動的に除湿を停止し、送風運転になります。

●霜取り運転中に電源プラグを抜いたり、運転を停止しないでください。

低湿度（約 50%以下）に維持することには適しません

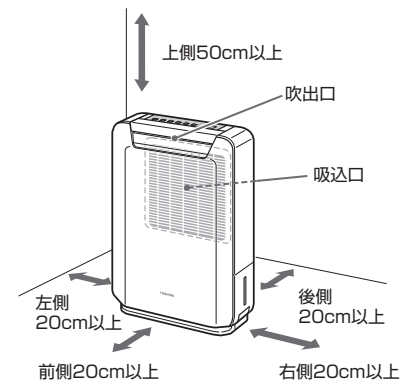
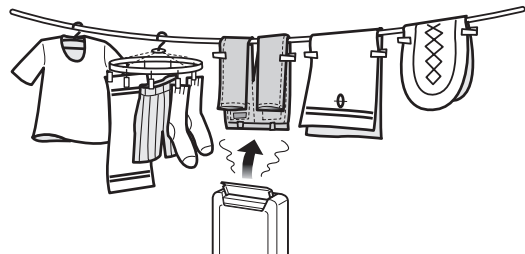
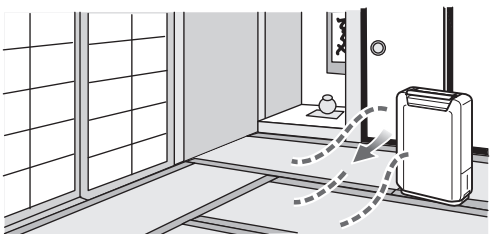
この除湿機は日常生活において不快な湿気を取り除いたり、室内での洗たく物などの補助乾燥に使用するもので、特に低湿度に保ちたい場合には適しません。

運転中の室温の上昇について

除湿機には、冷房機能はありません。むしろ運転中熱を発生します。このために室温が 1 ～ 4℃上昇することがあります。
扉や窓などを閉め切って使用するため、室内にある他の電気製品などの熱や太陽からの輻射熱などによって、それ以上に室温が上昇することがあります。

各部のなまえとはたらき

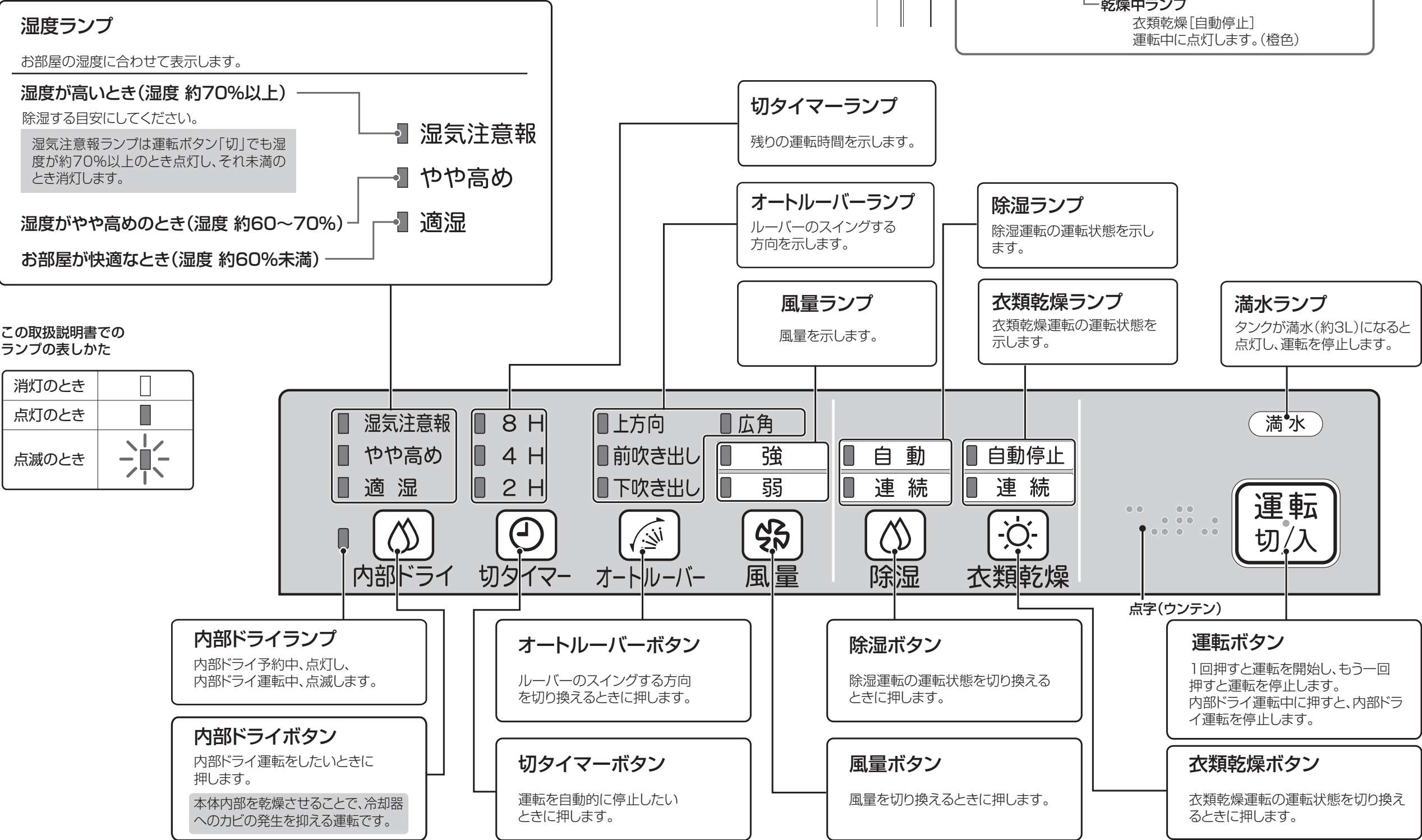
	※ 1	※ 2
試験機関	（財）日本紡績検査協会	（財）日本紡績検査協会
試験方法	JIS Z 2911 に準拠	JIS L 1902 に準拠
防カビ・抗菌の方法	脱臭フィルターに防カビ加工	脱臭フィルターに抗菌加工
防カビ・抗菌を行っている対象部分の名称	脱臭フィルター	脱臭フィルター
試験結果（試験番号）	防カビ効果あり（08020766）	抗菌効果 99%（015443-1,015443-2）

設置場所

効率よく運転するために右図のスペースを確保してください。スペースを確保しないと除湿能力が低下する原因になります。

お願い

●電波が弱いときや室内アンテナ使用時などに、テレビ、ラジオ、補聴器などに雑音が入る場合があります。このときには除湿機から 70cm 以上離してお使いください。
●海浜地区や温泉地帯、油煙が多い場所など、周囲の環境が特殊な場所でご使用になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

（つづく）

各部のなまえとはたらき（つづき）

操作部

上手な使いかた

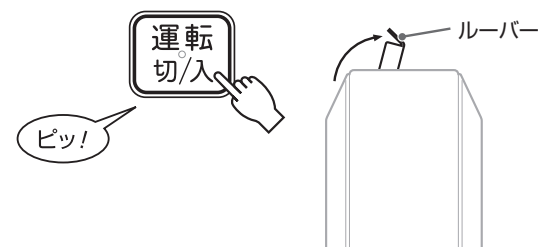
このようなときに	運転切換	運転状態と使いかたのポイント
お部屋を快適な湿度にしたいとき お部屋の除湿や、天井・壁の結露、カビの抑制に	**除湿運転［自動］** 湿度を検知しながら自動除湿をします。	●ルーバーが自動的に開き、「上方向」で停止します。 ●除湿運転と送風運転を繰り返して、湿度を約 60%にコントロールします。（除湿ランプは［自動］が点灯したままです） ●連続で除湿したい場合は、除湿運転［連続］にしてください。
洗たく物を乾燥させたいとき	**衣類乾燥［連続］** **衣類乾燥［自動停止］**	●ルーバーが自動的に「広角」でスイングを始めます。洗たく物が早く乾燥するように、オートルーバーボタンを押して、ルーバーのスイングする範囲を選びます。 ●洗たく物が前方にある場合は、オートルーバーボタンを押し、「前吹き出し」を選びます。 ●乾きにくい衣類は除湿機の風が当たりやすいところにおくと早く乾燥します。 ●衣類乾燥［自動停止］の場合は、洗たく物が乾いたころに運転を自動停止します。
畳やじゅうたんを乾燥したいとき	**除湿運転［連続］** オートルーバー「下吹き出し」を選び、連続除湿をします。	●オートルーバーボタンを押し、「下吹き出し」を選びます。 ●乾燥させたい部分に風が当たるようにすると効果的です。

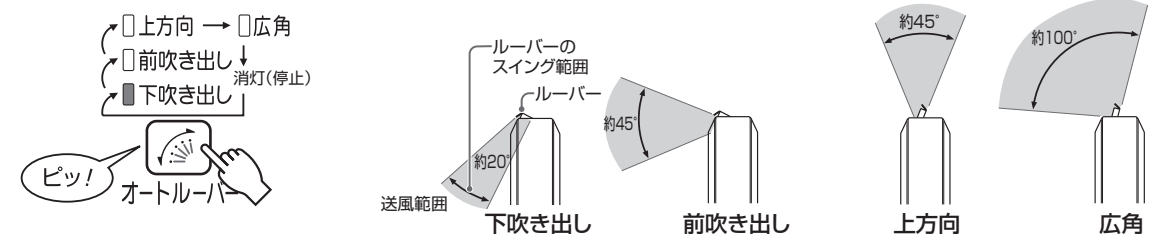
お知らせ

●運転と同時に脱臭機能もはたらきます。
●除湿運転［連続 / 自動］、衣類乾燥［連続 / 自動停止］、風量、オートルーバー動作は一度セットするとマイコンに記憶されます。運転ボタンを押すだけで同じ運転になります。
（電源プラグを抜いたり、停電があった場合は、もう一度やり直してください）

ルーバーをお好みの方向にするとき

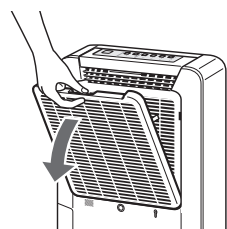
運転ボタンを押す

●ルーバーが自動的に開き、「上方向」で停止します。

上下方向の切り換え：オートルーバーボタンを押し、お好みの吹き出し角度に切り換える

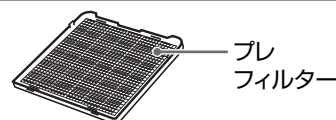
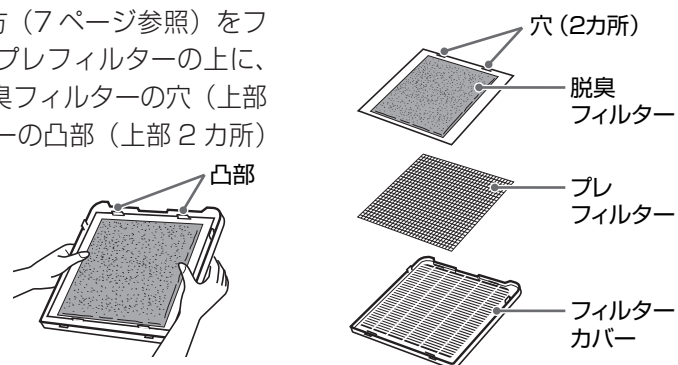
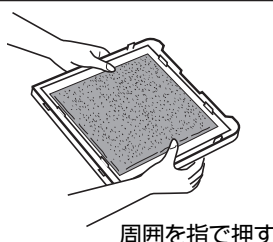
●ボタンを押すたびにオートルーバーランプが「下吹き出し」→「前吹き出し」→「上方向」→「広角」→消灯（停止）に切り換わります。

ルーバーの動作を停止させ、固定した方向で使用したいときは、いったん「広角」設定したあと、ルーバーがお好みの位置になったところでふたたびオートルーバーボタンを押します。この場合はスイングしません。

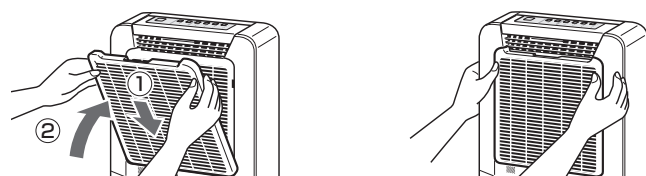
運転前の準備と確認

脱臭フィルターを取り付ける

1 フィルターカバーをはずす

2 脱臭フィルターをフィルターカバーに取り付ける

①脱臭フィルターをポリ袋から取り出します。
※ポリ袋の中に黒い粉（活性炭）が落ちていることがありますが、異常ではありません。

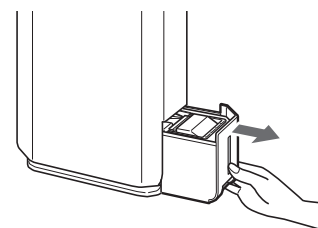
②プレフィルターがフィルターカバーに確実に取り付けられていることを確認します。

③「オモテ」と書かれてある方（7ページ参照）をフィルターカバー側にして、プレフィルターの上に、脱臭フィルターをのせ、脱臭フィルターの穴（上部2カ所）をフィルターカバーの凸部（上部2カ所）にはめます。

④周囲を指で押し、確実に取り付けてください。
・脱臭フィルターがフィルターカバーからはみださないように取り付けてください。

お知らせ ●手に黒い粉が付くことがありますが、無害です。

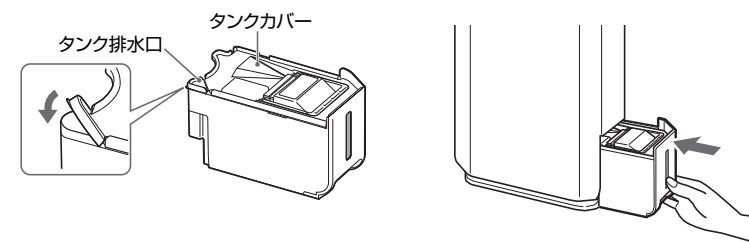
3 本体に取り付ける

※片方をはめ込んでからもう一方を押し込むと、取り付けやすくなります。

タンクが正しく入っていることを確認する

タンクが正しく入っていないときや、満水のときは、運転しません。

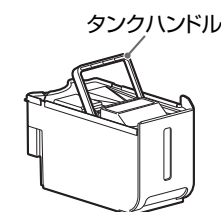
出しかた

タンク中央下端の凹部に指をかけ、静かに手前に引き出す

入れかた

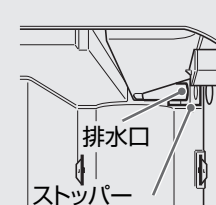
1. タンク排水口を確実に閉める
2. タンクを水平にし、静かに奥まで確実に入れる
   - ●入れるときにタンクハンドルを倒す必要はありません。

お願い
●タンクカバーおよびタンク排水口は確実に閉めてください。水もれの原因になります。

タンクの水の捨てかた

1 タンクを取り出す

2 タンクハンドルを持ち、静かに運ぶ

3 排水するときはタンク排水口を開けて、タンクを傾け、ゆっくり排水する

4 タンクを本体に入れる

お知らせ
●除湿した水はタンクにたまります。タンクが満水になると自動的に運転を停止し、満水ランプの点灯と「ピーピー」と5秒間ブザー音でお知らせします。
●運転中にタンクを取り出しても「ピーピー」と5秒間ブザー音が鳴ります。
●ストッパーで排水口からの水の滴下を防ぎますが、排水口付近についた水が滴下することがあります。

●連続排水するときは20ページを参照してください。

運転のしかた

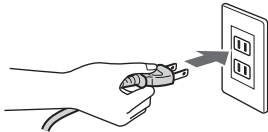
⚠警告

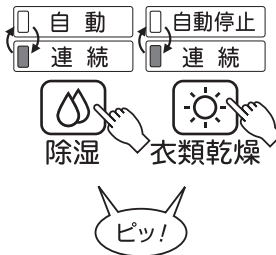
禁 止

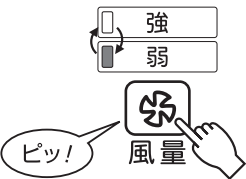
電源コードをふすまやドアに挟まない
電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。

●運転を自動的に停止するタイマー運転も選択できます。おやすみやお出かけのときなどに便利です。タイマー時間は 2・4・8H から選ぶことができます。（H：時間を示す）

除湿運転・衣類乾燥運転をする場合

1 電源プラグをコンセントに差し込む
●タンクが正しく入っていることを確認してください。

2 運転ボタンを押す
●除湿ランプ［連続］、風量ランプ「弱」が点灯し、運転が始まります。
●ルーバーが自動的に開き、「上方向」で停止します。

3 除湿ボタンか、衣類乾燥ボタンを押し、お好みの運転にする
●押すたびに、各ランプが順番に点灯し、運転が切り換わります。
●衣類乾燥ボタンを押すとルーバーが自動的に「広角」でスイングを始めます。
●衣類乾燥［自動停止］の場合、風量は「強」設定になります。
●約 30 分後、水がたまり始めます。
※室温 27℃、湿度 60%を維持する室内で衣類乾燥［連続］、 風量「強」で運転した場合

室温、湿度、ルーバーの開き具合などの条件により除湿量が変わります。

4 風量ボタンを押し、お好みの風量にする
●風量ボタンを押すたびに、風量ランプが順番に点灯し、風量が切り換わります。

5 オートルーバーボタンを押し、お好みのルーバー方向にする
●オートルーバーボタンを押すたびにオートルーバーランプが右の順序で点灯し、スイングする方向が切り換わります。

運転を停止するときは、運転ボタンを押す
●各ランプが消灯し、ルーバーは自動的に閉じます。
●内部ドライ運転を予約している場合は、運転停止後に内部ドライ運転を行います。（17 ページ参照）

●ルーバーが開いているときに運転を停止した場合は、ルーバーが自動的に閉じるまで電源プラグを抜かないでください。
●ルーバーは、手で動かさないでください。

上手に衣類乾燥するために

●等間隔に干す
洗たく物は風が直接当たるとよく乾きます。風が行き渡りやすいように詰めすぎず等間隔に干してください。

●除湿機の位置を工夫する
除湿機の位置を変えたり、洗たく物の並べかたを変えたりすると洗たく物が乾きやすくなります。

●洗たく物によって干す位置を変える
・厚手の衣類……………………………乾きにくいので、風がよく当たる所に干します。
・ジーンズやスカートなど………裏返しにして風通しをよくして干します。
・T シャツや下着などの薄手の衣類……乾きやすいので、さおのはしに干します。

●乾いたらなるべく早く取り込む
梅雨時や雨の日などは、乾燥しても干したままにしておくと、また、湿気を吸収します。

お知らせ ●下記の場合などは洗たく物が乾きにくくなります。
・洗たく物が多いとき　・洗たく物の生地が厚いとき　・洗たく物の間隔が狭いとき
・洗たく物を干す部屋が広いとき　・部屋の温度が低いとき

衣類乾燥［自動停止］運転について

除湿機周囲の湿度と温度をセンサーで確認し、洗たく物が乾いたころに運転を自動停止します。
衣類乾燥［自動停止］の終了時間（目安）は、約 8 時間※です。

●運転中は乾燥中ランプが点灯（橙色）し、自動停止と同時に乾きごろランプが点灯（緑色）します。
乾きごろランプは 24 時間経過するか、再び運転を開始することで消灯します。

●風量は「強」設定になり「弱」にはできません。また、タイマー時間の設定もできません。

※初期室温：20℃、初期湿度：70%、部屋の広さ：約 6 畳、洗たく物の量約 2kg 相当の場合
実際に使用するときの運転時間は部屋の広さ、温度、洗たく物の量、脱水の状況、素材などの実際の使用環境、使用条件などによって異なります。
※最長 16 時間で運転を停止します。

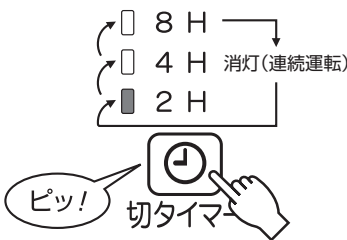
●自動停止後、洗たく物の乾きが不十分なときはふたたび乾燥してください。
（完全に乾燥しないで停止する場合もありますが、故障ではありません）
●洗たく物を干す部屋の湿度が低い場合（湿度約 50%以下）は、洗たく物が乾かずに運転が終了する場合があります。これは、除湿機周囲の湿度が低いと洗たく物が乾いたと判断するもので故障ではありません。湿度が低いときの衣類乾燥は、衣類乾燥［連続］で行ってください。

（つづく）

運転のしかた（つづき）

タイマー運転をする場合

切タイマーボタンを押し、タイマー時間を設定する

●押すたびに、切タイマーランプが右の順序で点灯します。
●衣類乾燥［自動停止］運転中は、切タイマーの設定はできません。（自動的に停止します）

●時間の経過とともに切タイマーランプが切り換わり、残りの運転時間を示します。

設定したタイマー時間が経過すると、運転を停止します。

運転を停止したいとき

運転中：もう一度運転ボタンを押す

タイマー時間を変えたいとき

切タイマーボタンを押し、お望みの時間に合わせる
●新たに合わせた時間からタイマーが作動します。

タイマー運転を解除し、運転を継続したいとき

切タイマーボタンを押し、切タイマーランプを消灯させる

お知らせ

●除湿ボタン、衣類乾燥ボタンを押すたびにタイマー時間の設定が解除されます。
除湿ボタン、衣類乾燥ボタンを押したときは、そのたびにタイマー時間を設定し直してください。
●タンクが満水になるとタイマーは止まりますが、タンクの水を捨てたあと再びセットすると作動します。

操作音について

ボタンを押すとブザーが「ピッ」と鳴ります。

●一回押すごとにブザーが「ピッ」と鳴り、設定が順送りされます。
●基点（除湿運転［連続］、衣類乾燥［連続］、風量「弱」、オートルーバー「下吹き出し」、切タイマー「2H」、内部ドライ予約時）に戻ると「ピッ、ピッ」と２回鳴ります。
●運転を停止するときは、「ピー」と長めの音になります。
●操作を受け付けない場合は、「ピー、ピー、ピー、ピー」と４回鳴ります。

お知らせ

●ルーバーを手で閉じた状態で運転すると保護装置が動作して、除湿しないことがあります。
●電源プラグを差し込んだあとや、運転停止後すぐに運転操作をしても機械保護のため、約３分間は送風運転になり、除湿しません。その後自動的に除湿を開始します。
●除湿している部屋に外の空気が入ると除湿効果が低下します。窓や扉の開閉をできるだけ少なくすると効果的な運転ができます。
●運転中に周囲の温度が約 40℃以上になると、自動的に除湿を停止し、温度が下がると自動的に除湿を再開します。
●運転開始時などに本体内部で「シュルシュル」・「ゴーゴー」という音がすることがあります。これは冷媒が循環している音で、循環が安定すると次第に小さくなります。
●運転を開始してからタンクに滴下するまで約 30 分かかります。
※室温 27℃、湿度 60%を維持する室内で衣類乾燥［連続］、風量「強」で運転した場合

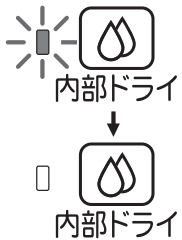
内部ドライ運転をする場合

本体内部を乾燥させることで、冷却器へのカビの発生を抑えます。
運転後や長時間お使いにならないときに、内部ドライ運転をおすすめします。

除湿運転・衣類乾燥運転中に、内部ドライボタンを押す

●内部ドライランプが点灯し、内部ドライ運転を予約します。
●各運転を終了後、またはタイマー運転終了後、内部ドライ運転を始めます。
（内部ドライランプが点滅し、ルーバーは自動的に開き、「上方向」で停止します。）
●約１時間後、自動的に停止します。
（内部ドライランプが消灯し、ルーバーは閉じます。）

運転停止中に、内部ドライボタンを押す

●内部ドライランプが点滅し、内部ドライ運転を始めます。
（ルーバーは自動的に開き、「上方向」で停止します。）
●約１時間後、自動的に停止します。
（内部ドライランプが消灯し、ルーバーは閉じます。）

内部ドライ運転を停止または、予約解除するとき

内部ドライ運転予約中に内部ドライボタンを押す

●内部ドライランプが消灯します。

内部ドライ運転中に運転ボタンを押す

●内部ドライ運転が止まります。

お知らせ

●すでに発生しているカビを取り除くことはできません。
●内部ドライ運転を途中で解除すると、効果が得られない場合があります。
●本体内部にこもった湿気を放出するため、室内の湿度が上がることがあります。
●内部ドライ運転中に切タイマーをセットすることはできません。
●内部ドライ運転予約中、電源プラグを抜き差しした後は、内部ドライ運転は解除されます。

お手入れのしかた

⚠警告

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。

⚠注意

プラグを抜く

掃除をするときは運転を停止し、電源プラグを抜く
けがや感電の原因になることがあります。

禁 止

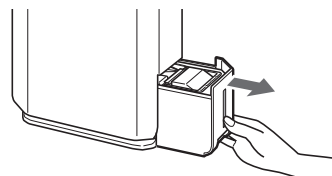
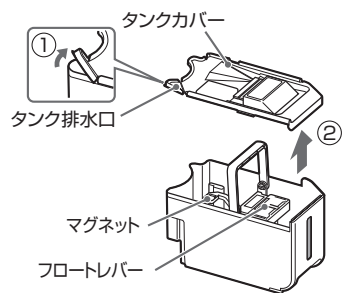
タンクのフロートレバーをはずさない
フロートレバーをはずすと、運転しなくなったりタンクの水が室内にこぼれ家財をぬらしたり、感電・漏電の原因になります。

本 体

かたくしぼったやわらかい布でふき取る

- 電源プラグのほこりなどは、定期的にふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、指定濃度にうすめた台所用中性洗剤を浸したやわらかい布をかたくしぼって汚れをふき取ってください。（操作部は水を使わず、からぶきをしてください）
- ベンジン･シンナー･アルコール･石油･みがき粉･たわしなどを使用すると、変形したり割れたりすることがありますので使わないでください。
- 化学ぞうきんを使うときは、その注意書にしたがってください。

タンク（1 週間に 1 回程度）

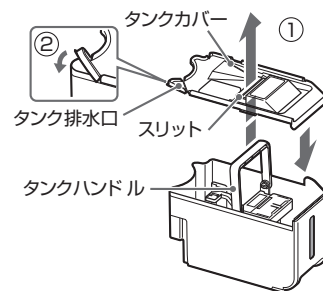
1 **タンクを本体から引き出す**

2 **タンクカバーをはずす**
①タンク排水口を開けます。
②タンクカバーを上方向に引き上げてはずします。

3 **タンクカバーとタンクの内側を水洗いする**

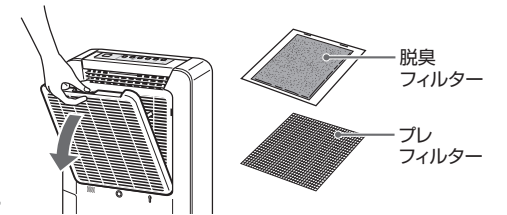
お願い

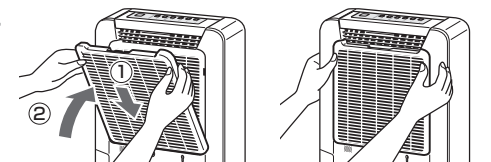
- タンク排水口を引っ張らないでください。破損の原因になります。
- フロートレバー・マグネット・タンクハンドルをはずさないでください。
- フロート（発泡スチロール）は、取りはずさないでください。水もれの原因になります。
- たわしなどで強くこすらないでください。傷つきの原因になります。

4 **外側の水をふき取り、タンクカバーを取り付けてから本体に取り付ける**
①タンクハンドルをタンクカバーのスリットに通し、確実に出してからタンクに取り付けてください。
②タンク排水口を確実に閉めてください。

お願い

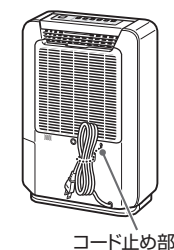
- 本体に入れるときは、タンクを水平にし静かに奥まで確実に入れてください。

脱臭フィルター・プレフィルター（2 週間に 1 回程度）

1 **フィルターカバーを取りはずし、脱臭フィルター・プレフィルターを取り出す**

2 **脱臭フィルター・プレフィルターについたほこりは、軽くたたいて取る**

3 **もとどおりに取り付ける**
- 脱臭フィルターが確実に取り付けられていることを確認してください。

- 脱臭フィルター、プレフィルターをはずしたまま運転しないでください。脱臭機能がはたらきません。また、故障の原因になります。

長期間使用しないとき

1 **内部ドライ運転をする（17 ページ参照）**

2 **運転停止後、電源プラグを抜き、電源コードをたばねて、本体背面のコード止め部に掛ける**

3 **タンクの水を捨て、ふいてからもとどおりに取り付ける**

4 **フィルターを掃除する**

5 **直射日光の当らない場所に*必ず立てて保管する***

- 横倒しにして保管しないでください。故障や異常音の原因になります。

■交換時期（1 ～ 2 年に 1 回程度）

- 脱臭フィルターの寿命は、お部屋の広さ、喫煙量、運転時間などにより異なりますが、約 1 ～ 2 年です。約 1 ～ 2 年に 1 回、新しいフィルターと交換してください。

交換用のフィルター

- お買い上げの販売店で東芝除湿機用脱臭フィルターをお買い求めください。

形　名	東芝除湿機用脱臭フィルター
RAD-63DEX	RAD-F010

- 丸めたり、破ったりしないでください。使用できなくなります。
- ポリ袋から出したあとは放置しないでください。脱臭効果が低下します。

連続排水のしかた

近くに排水できる場所があれば、排水用ホースを取り付け、連続排水することができます。
長時間運転ができ、タンクの水を捨てるわずらわしさがありません。

⚠注意

連続排水する場合は、排水用ホースの配管処理を確実に行う

排水ホースを確認する

正しく配管されていないと家財をぬらしたり、感電・漏電・火災の原因になることがあります。

排水用ホースの周囲温度が氷点下になる場合は使わない

禁止

ホース内部の水が凍結し、排水が不完全になり室内にこぼれ家財などをぬらしたり、感電・漏電・火災の原因になることがあります。

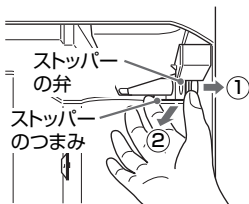
連続排水するときは、必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜き、次の順序で行なってください。

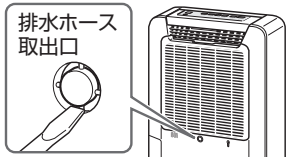
●用意するもの

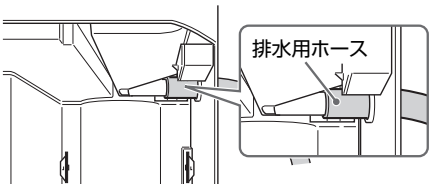
排水用のホース（市販のビニールホース）
長さ：除湿機から排水場所までの長さ+約 30cm
太さ：内径 15mm、外径 20mm 以下

●じゃばらホースは使用しないでください。ホースの中に水がたまって、連続排水ができない場合があります。

1 排水口をあける

●タンクを取り出し、ストッパーの弁を開いた（①）後、左奥方向（②）に止まるまで移動させます。
●連続排水をやめ、通常のタンク排水に戻すときは、ストッパーのつまみを手前に止まるまで移動させます。ストッパーの弁が排水口をふさいでいることを確認してください。

2 排水ホース取出口をあける

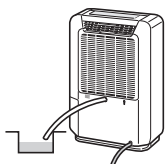
●本体背面の排水ホース取出口のふたをはずします。
（マイナスドライバーなどで取りのぞいてください。）

3 排水用ホースを取り付ける

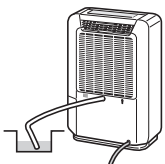
●排水用ホースを排水ホース取出口に入れ、排水口にしっかりと根元まで差し込みます。

4 タンクを入れる

●タンクを入れないと運転できません。

排水用ホースの配管のしかた

よい例

●下がり勾配になるようにしてください。

悪い例

●途中で折れ曲がっている。
●途中で上がり勾配になっている。
●ホースの先が水につかっている。
●排水ホース取出口より上がり勾配になっている。

●排水ホース内の水温と周囲温度に差が生じると、排水ホース表面に露がつくことがあります。ご使用になる環境によっては、排水ホースに断熱処理をしてください。
●ホースの周囲が氷点下になる場所では連続排水するとホースの内部が凍結し、除湿した水がもれる場合があります。
●試運転を行い確実に排水されることを確認してください。
●ホースの長さは、3m 以下にしてください。（ホース内に空気がたまるとタンクに除湿水がたまり、満水になると運転が止まります）

故障かな？と思ったとき

修理を依頼する前に、次の点をお調べください。

こんなとき	調べるところ	処置のしかた	参照ページ
運転しない	ご家庭のブレーカーがおちたり、ヒューズが切れていませんか。	ブレーカーを入れ直す、またはヒューズを直してください。	—
	電源プラグがコンセントからはずれていませんか。	電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。	14
	タンクが満水になっていませんか。	タンクの水を捨ててください。	13
	タンクが正しく入っていますか。	タンクを正しく入れてください。	13
除湿量が少ない	ルーバーが閉じた状態になっていませんか。	オートルーバーボタンでルーバーを開いて運転してください。	11
	脱臭フィルター・プレフィルターが汚れていませんか。	脱臭フィルター・プレフィルターのお手入れをしてください。	19
	吸込口や吹出口やルーバーがふさがれていませんか。	吸込口や吹出口やルーバーをふさいでいるものを取り除いてください。	3
運転音がうるさい	設置が悪く本体がガタガタしていませんか。	じょうぶで水平な場所でお使いください。	4
洗たく物がなかなか乾かない	湿った冷たい空気が室内に入っていませんか。	乾燥中は窓や扉の開閉をできるだけ少なくしてください。	17
	室温が 20℃以下ではありませんか。	室温が低い部屋では乾きにくくなります。	15
	広い部屋で乾かしていませんか。	狭い部屋ほど早く乾きます。脱衣所などを利用し、衣類に風が当たるように干してください。	15
	脱水不十分なものや、手しぼりのものを乾かしていませんか。	十分脱水してください。	—
洗たく物が乾いていないのに自動停止する	衣類乾燥［自動停止］運転時、本体の近くで暖房機を使っていませんか。	センサー周辺温度が高くなり、衣類乾燥時間の判断が適切にできません。	—
洗たく物が乾いているのに自動停止しない	室温が高い場合や衣類が少ないと早く乾く場合があります。運転を停止させるか、そのまま除湿したい場合は、除湿運転［自動］などに切り換えてください。		10

（つづく）

故障かな？と思ったとき（つづき）

次のような場合は、故障ではありませんのでそのままお使いください。

現　　象	理　　由	参照ページ
運転中、時々止まる（運転音が変わる）	●霜取り運転中です。霜取り運転が終わるまでしばらくお待ちください。 ●除湿運転［自動］中に部屋の湿度が約 60%以下になり、除湿運転を停止したためです。	6 10
除湿量が少ない	●室温が低いと除湿量が少なくなります。 約 5℃未満になると除湿運転を停止し、送風運転になります。 ●除湿運転［自動］中に部屋の湿度が約 60%以下になり、除湿運転を停止したためです。	6 10
なかなか適湿にならない	●お部屋が広すぎませんか。（仕様参照） ●窓や出入口の開閉が多くありませんか。 ●石油ストーブ、ファンヒーターなど水蒸気の出るものを使っていませんか。	17
運転すると部屋が臭うことがある	●壁やじゅうたん、家具、衣類などにしみ込んでいる臭いが出てくるためです。	−
運転開始時または運転状態を切り換えたときなどに、本体内部で「シュルシュル」･「ゴーゴー」という音または金属音がする	●冷媒の循環が安定するまで冷媒の音が出ることがあるためです。	17
タンク内に水または水の蒸発したあとがある	●工場での除湿テストによる残り水、または蒸発したあとです。	−
ブザーが鳴る	●タンクが満水になるとブザーでお知らせします。	13
タンクに水が落ちてこない	●除湿した水がタンクに落ちてくるまで約 30 分かかります。	14

仕 様

形　　名		RAD-63DEX	
電　　源		交流 100V（50 ／ 60Hz 共用）	
電源周波数		50Hz	60Hz
除湿能力 ※ 1		5.6L ／日	6.3L ／日
消費電力※ 2	室温 27℃	195 W	215W
	室温 30℃	200 W	220W
除湿可能面積の目安※ 3	木　造	7 畳（12m²）	8 畳（13m²）
	コンクリート	14 畳（23m²）	16 畳（26m²）
タンク容量		約 3L で自動停止	
質　　量		約 9.3 kg	
外形寸法		幅約 385mm ×奥行約 174mm ×高さ約 528mm	
使用可能室温		5℃〜約 40℃	
付属品		脱臭フィルター	

※ 1 室温 27℃、相対湿度 60%を維持する室内で衣類乾燥［連続］、風量「強」運転した場合の 1 日当たりの除湿量です。
※ 2 相対湿度 60% を維持する室内で衣類乾燥［連続］、風量「強」運転した場合です。運転停止状態の消費電力は約 1W です。
※ 3 JEMA（日本電機工業会）規格に基づいた数値です。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

保証とアフターサービス　必ずお読みください

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は　**お買い上げの販売店にご相談ください。**

販売店に修理のご相談ができない場合

東芝家電修理ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-41　受付時間：365日 **24時間**
携帯電話からのご利用は　ナビダイヤル 0570-06-4114（通話料：有料）
PHSなどからのご利用は　0173-38-3168（通話料：有料）

お買い物・お取り扱いのご相談

東芝家電ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-86　受付時間：365日 **9:00〜20:00**
携帯電話・PHSなどからのご利用は　03-3426-1048（通話料：有料）
FAXでのご利用は　03-3425-2101（通信料：有料）

- 「東芝家電修理ご相談センター」は、東芝テクノネットワーク株式会社が運営しております。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（一体）

●保証書は、この取扱説明書の裏表紙に記載されています。
●保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
●**保証期間はお買い上げの日から 1 年間です。ただし、冷媒回路部品については 3 年間です。**

補修用性能部品の保有期間

●除湿機の補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後 8 年です。
●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

●修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
●修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　出張修理

●21 〜 22 ページに従って調べていただき、なお異常があるときは運転を停止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

■ご連絡いただきたい内容

故障の状況	できるだけ具体的に
訪問希望日	
便利メモ	お買い上げの販売店名を記入されておくと便利です。 電話（　　　　）

愛情点検

長年ご使用の除湿機の点検を！

定期的に「安全上のご注意」を確認してご使用ください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。

こんな症状はありませんか。

電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

● ブレーカーやヒューズがたびたび切れる。
● 誤って異物や水を入れてしまった。
● 本体から水がもれる。
● 電源コードや電源プラグの過熱や電源コード部分に破れがある。
● 運転音が異常に大きい。
● ボタンの動作が不確実。
● 運転中にこげくさい臭いがする。

ご使用中止

故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

東芝除湿機保証書

出張修理

<table>
<tr><td colspan="2">形名</td><td colspan="2">RAD-63DEX</td><td colspan="3">製造番号</td></tr>
<tr><td rowspan="3">★お客様</td><td>お名前</td><td colspan="5">ふりがな
様</td></tr>
<tr><td>ご住所</td><td colspan="5">〒□□□-□□□□</td></tr>
<tr><td>電話</td><td colspan="2">市外</td><td>市内</td><td>番号</td><td>呼</td></tr>
<tr><td rowspan="2">保証期間</td><td rowspan="2">本体</td><td>本体　1年</td><td colspan="4" rowspan="2">★お買い上げ日
年　月　日から</td></tr>
<tr><td>冷媒回路部品　3年</td></tr>
<tr><td>★ご販売店</td><td colspan="6">住所・店名
電話</td></tr>
</table>

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

東芝ホームテクノ株式会社　家電事業統括部
〒959-1393　新潟県加茂市大字後須田2570-1　電話(0256)53-2847

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

保証期間中に故障が発生したときは、お買い上げの販売店に出張修理をご依頼ください。

修理の際には本書をご提示ください。

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。また、本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）誤ったご使用や不当な修理･改造で生じた故障、損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
   （ハ）火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
   （ニ）本書のご提示がない場合。
   （ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
   （ヘ）保証書の製造番号と本体の製造番号が一致しない場合。
2. 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 修理のため取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居またはご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、東芝家電修理ご相談センターへご相談ください。
6. 冷媒回路部品とは圧縮機、蒸発器、凝縮器、機内冷媒配管などを指します。

修理メモ　修理年月日	修　理　内　容	担当
年　月　日		
年　月　日		

・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

東芝ホームテクノ株式会社
家電事業統括部
〒959-1393　新潟県加茂市大字後須田2570-1

THT-CLCT(TD)